

【令和5年度 津久見支部研修旅行レポート】 筆者：事務局

今回は、伝統的建造物群保存地区を研修先に選定（8月）して
「日南市飫肥重要伝統的建造物群保存地区」と「日向市美々津重要伝
統的建造物群保存地区」の2箇所を巡ることに決定。

11月25日（土）午前9時予定通り会費を徴収し、休憩地である
「川南SA」（所要時間は2時間を予定）に向け津久見を出発・・・
早々「北川SA」でトイレ休憩に入る（所要時間1時間：頻尿のたま
ものか・・・）それでも11時ジャスト予定通り「川南SA」に到着、
トイレを済まして日南に向かう、これまた12時30分予定通りに
津久見支部^{おはこ}十八番「ジョイフル」に到着、



周りの目も気にせず食事風景にシャッターを切って周囲の不評を買
うも、なんの園まり・天地真理・・・ （何食べたの？皿だけ）

いよいよメインの飢肥重要伝統的建造物群保存地区に入る。

この地区は、飢肥藩伊東家 5 万 1 千石の城下町として栄え当時の地割をよく留め、街路幅も当時のまま残されています。

建築物 1 1、工作物 1 2 7、生垣 2 3 が良く保存され地方における小規模な城下町の歴史的風致が残る約 1 9. 8 h a の範囲を昭和 5 2 年に選定しています。



(大手門で人員確認：暖かく迎えてくれた日南の日差し)

飢肥城天守閣跡地に規則正しく植林された飢肥杉を眺めながら
当時に思いを馳せゆっくり散策した後、特産である「飢肥天」に
舌つづみ・・・

せっかくなので世界中が平和になればと、鵜戸神宮に参拝することになった。



この時期中々ホテルの予約が困難で・・・取れたホテル（日向市）
に向かう時間となり、早々と日南を後にした・・・
チェックインの時間にやっと間に合うが早いか、反省会の時間
ホテルの2階にある会場で反省と明日の研修に向け意を新たにする
のであった・・・



（反省会：料理が無いのは予算の関係？）



(朝 ホテル玄関先にて：この写真なら寝起きの顔は大丈夫)

1 1月26日(日) 午前9時ロビーに集合、不思議と爽やかな顔
今日はホテルから近場(所要時間20分)の美々津が研修地です。

R10号線を下り、耳川に架かる美々津大橋を渡るとすぐ左に下がった所で「大分から来なさったと」と地区の高齢者に呼び止められ
駐車場を案内された「後から2台来るけん教えちゃってくれん」とお願いし河川敷の駐車場に止めるとすぐ後続車が入ってきた。

この地区は江戸時代に高鍋藩の港町とし廻船業で繁栄した地区で
約7.2haの範囲を昭和61年に選定しています。

又、日本最初の神武天皇の御船出の地と伝えられています。

廻船問屋で栄をなした「河内屋」が「日向市歴史民俗資料館」として
開館されています。

いらっしやいませ・・・なんと先程お声がけを頂き、駐車場を案内
してくれた地区の高齢者がそこに居るでは有りませんか・・・
入館料を払い地区の経緯や建屋の説明をして頂き、コンパクトな
地区を散策・・・



(資料館前にてしばしの休憩)



(資料館内部で真面目に説明を聞く)

帰りは「北川S A」で昼食と解散式をし、無事今回の研修は終了



(解散式：皆さん無事帰りつくように安全運転で・・・)